

例言

一、本書は、日野市立新選組のふるさと歴史館の企画展示「日野宿いろは」のむかしの基礎知識」の展示内容をまとめて制作した図録である。同展示の分担は、以下の通りである。

監修……宮地正人（東京大学名誉教授、元東京大学史料編纂所所長、前国立歴史民俗博物館館長）

展示……日野市立新選組のふるさと歴史館  
日野市委託宮崎家所蔵史料等調査団（团长西脇康）

イメーヅ音楽作曲……藤田 勉（音楽家・早稲田大学講師）

一、展示史料は随時入れ替えており、ここに掲載した史料すべてが同時に展示されるわけではない。

一、本書の製作分担は、以下の通りである。

執筆（特記を除き、図表とも）

……松下 尚（日野市まちづくり部新選組のふるさと歴史館主事・学芸員）

編集……藤井和夫（日野市まちづくり部新選組のふるさと歴史館）

助言……西脇 康（早稲田大学講師・東京大学史料編纂所非常勤専門職・宮崎家所蔵史料等調査団团长）

金野啓史（日野市教育委員会文化スポーツ課文化財係長・学芸員）

写真……藤井和夫（ただし、特記を除く）

装丁・レイアウト……藤井和夫

長谷川奈織（一般社団法人文化遺産調査研究保存継承機構

ゆらび調査員・宮崎家所蔵史料等調査団主任

調査員・国立科学博物館鈴木一義研究室助手）

一、本書における歴史名辞とその字体表記の扱いについては、現行の高等学校日本史教科書における用語を網羅する全国歴史教育研究協議会編『日本史B用語集』(二〇一〇年山川出版社発行)を参照・検討し、常用漢字新字体による教育の現状、およびデジタル記録媒体に対する保存・検索等の便宜に対して配慮した。また、物故者の氏名表記についても同じ扱いとした。

一、本書における翻刻の凡例は次の通りである。

- ① すべて原本の書式を尊重したが、読解の便宜のため、原文にはない読点・並列点を適宜補った。ただし、割註形式の記載は「〜」で、書状等の一部は本文改行を「〜」で示した。

- ② 漢字は原則として常用漢字の新字体を用い、異体字・略字などは適宜置き換え

を行った。

- ③ 変体仮名は、現行の平仮名・片仮名に改めたが、而已(のみ)・ゐ・ゑはそのままとした。

- ④ 合字は現行の平仮名・片仮名に改めた。

- ⑤ 誤字などについては、(……カ)、あるいは(ママ)を本文の右行間に併記した。

- ⑥ 脱字等は(……脱カ)、(……脱カ)などとして、本文の該当部分に(……)をもつて註記した。

- ⑦ 慣用的に用いられる発音記号は、々(漢字)、ヽ(平仮名)、ヾ(片仮名)、く(りかえし)を用いた。

- ⑧ 敬意の表現である欠字・平出・台頭については、すべて省略した。

- ⑨ 虫喰などで判読できない場合は、字數分を□□で示し、字數が不明な場合は「」で示した。

- ⑩ 欠損部分がある場合は、(前欠)(中欠)(後欠)などと註記した。

- ⑪ 抹消・訂正は、抹消部分が判読可能な場合は(抹消)と註記して「」をもつて記し、訂正文字があればその右行間に併記した。

- ⑫ 印形の押捺がある場合は、(印)と示した。

- ⑬ 表紙・朱筆・史料番号、挟み込み文書などは、(……)で註記したうえ、その文言を「『』」をもって、原本にあった位置に記した。

- ⑭ このほか、校訂者の加えた註記はすべて(……)をもって記した。

一、史料中の表現については、今日の人権尊重の精神からすれば、不適切な差別的語句や表現と判断される部分もあるが、史料そのものが歴史的産物であることを考慮し、あえて原文のままとした。

一、本書作成に当たっては、所蔵機関及びその職員の方々、ならびに資料等所蔵者のほか、土方智・谷川尚哉・加藤貴・鈴木一義の協力を得た。

一、著作権法上の例外を除き、本文・図表・写真・翻刻文・解説の「転載」「翻案」等二次利用については、必ず日野市を通じて関係者の許可を得られたい。著作権法で許される「引用」であっても、執筆者・作成者・撮影者の氏名、および書名・発行人・発行年を明記されたい。

目次

こあいさつ……………日野市長 馬場弘融……………ii

日野宿農兵隊と戊辰戦争……………23

街道と宿場……………1

(1) 五街道と甲州道中／(2) 宿場とは／(3) 宿場の施設

日野宿の成り立ち……………4

(1) 日野宿の始まり／(2) 交通の要衝・日野

多摩の開発と甲州道中の整備……………5

(1) 甲州道中の整備と千人同心／(2) 日野宿の成立

日野渡船場……………7

(1) 多摩川の渡船場／日野宿と渡船場／(3) 渡し舟の料金

宿場の賑わい……………9

(1) 街道の通行者／(2) 日野宿の規模／(3) 日野宿の施設

多摩の穀倉……………14

(1) 肥沃な土地・日野／(2) 助郷の負担

交通の発展……………16

(1) 経済発展と負担／(2) 流通の増加と通行料／(3) 日野宿の交通

宿場の暮らし……………18

幕末の日野宿……………19

浪士組と日野宿……………21

(1) 日野宿から浪士組へ／(2) 新選組と新徴組／(3) 新選組と日野宿

その後の日野宿……………25

(1) 維新後の日野宿／(2) 宿駅の役割の終焉／

(3) 宿場の消滅と新しい日野……………25